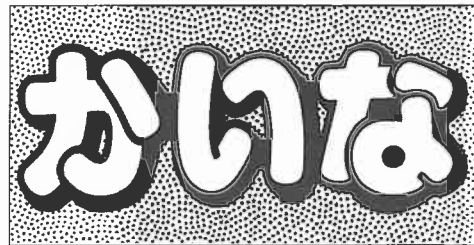


震災のため **かいな** は
休刊していましたが、
今回号より再開いたします。



全日本金属情報機器
労働組合(JMIU)
日本アイビーエム支部
東京都港区赤坂2丁目20の6
川瀬ビル5F 〒107-0052
TEL.:03-3583-9037
FAX.:03-5562-0853

定価 月 500円

「声をあげよう4・14集会」に参加しましょう!

現在も、退職強要につながるPIP(業績改善プログラム)が行われて、組合加入が相次いでいます。PIPの話がありましたら、組合に是非ご相談下さい。
4・14 PIPシンポジウムに多方面の方の参加があり、非常に役立ちます。是非参加して下さい。



いま、「雇用破壊」の攻撃は、「非正規」切りから、工場閉鎖・倒産、正社員の退職強要・解雇へとすすんでいます。とりわけ、大晦日に165名の指名解雇を強行したJAL、社保庁をはじめとする国・自治体での分限免職(整理解雇)、外資やIT産業を中心にひろがる「成果主義」による解雇・退職強要など、乱暴な解雇攻撃が急速にひろがっていることは重大です。
日本の財界や米外資企業は、従来から、企業業績が良い場合でも労働者を自由に解雇できる「解雇の自由化」を求めてきました。マスコミでは「正社員を自由に解雇できるようにすれば若者の雇用がふえる」などの論調がふりまかれています。今ひろがっている乱暴な解雇・退職強要の攻撃を許せば、日本の労働者の雇用と権利は根絶から削られます。国民的な世論でこれらをはお返さなければなりません。
わたしたち航空労組連、国公労連、新聞労連、JMIUの4つの労働組合は、乱暴な解雇・退職強要に反撃する国民的な共同を大きくひろげようと、「許すな!乱暴な解雇・退職強要 声をあげよう4・14集会」を開催することにしました。
このような乱暴な解雇をやめさせるために、ぜひこの集会にご参加いただくようお願いいたします。

日時: 2011年4月14日(木)
18時30分開始 [20時半終了予定]
会場: **みらい座いけぶくろ**
(旧 豊島公会堂)
内容: JAL、社保庁、日本IBM
ブルームバーグからの報告など
参加費無料



主催: 『許すな!乱暴な解雇・退職強要 声をあげよう4・14集会』実行委員会
航空労組連/日本国家公務員労働組合連合会(国公労連)
日本新聞労働組合連合(新聞労連)/全日本金属情報機器労働組合(JMIU)
連絡先: 新聞労連書記局 03-5842-2201 加藤

次号は4月25日発行予定です

JMIU日本アイビーエム支部を代表して、この震災の痛ましい犠牲になった皆様に、特に最愛の方を失った方々につつしんで哀悼の意を表するとともに、被害を受けられたすべてのみなさんに心からのお見舞いを申し上げます。
中央執行委員長 大岡義久



《幕張事業所》

3月11日の東日本大地震は、社員にとっても勤務中に突然発生した災害であり、不安と恐怖に襲われました。10時間近くかけて自宅をめざした人、足を奪われてしかたなく事業所に泊まった人、大きな影響がでました。しかし少ない情報の中で社員の自己責任に任せたとこの疑問の音が聞かれます。ここに各事業所でどういう状態であったのか、社員の声を掲載します。今後いつ起こるか分からない災害のために、是非生かしていただきたいと考えます。特に防災体制が機能していないと言った声、各事業所とも多いため、早急に改善が望まれます。

《本社事業所》

であった人も多かったと思われれます。

- 地震後、1階屋外への退避を指示。退避経路上には、建物の化粧板が落下しているところもあり、このような経路に誘導していることに危険を感じました。
- 帰宅指示が出たのは17時頃。それまで、屋外に立って待たされた。余震が続いていて、落下物の危険もあり、そのような指示でよかつたのか、疑問が残ります。
- 3時ごろの屋外退避後、すぐに帰宅指示を出せば、明るいうちに帰宅が可能
- 本社事業所では、非常食と水が配布されたのは、夜9時過ぎでした。徒歩帰宅組には配布されませんでした。
- 毛布などの支給がなく、会社に泊まった人も風邪をひくので寝なかつたとのこと。丸ビルでは、丸ビル管理社員にはもちろんテナントの全従業員に行き渡るよう、水、非常食、毛布を夕方までに配布されたと聞いています。
- 地震直後にテープで震度4レベルの地震と放送があったが、実際には5強であり、なぜ震度4と判定されたのか分からなかった。
- オフィス内では、ムービングキャビネが地震の最中は無秩序に動き、机の上のファイル等が落下しました。
- 階段や15階会議室のコーナーにひび割れがあることを、壁の粉が床に落ちていて分かった。放送では、ビルは倒

- 本社では、避難誘導にしろ勤務場所待機にしろ、直後に全く指示が出なかつたのは大きな問題です。仮に東京直下型大地震が来たら、これでは初動が遅れて多数の犠牲が出かねません。
- 本社低層階前の広場には、「外に出なきゃ」という声が多かった。この声が多かった外に出た人が多かつたです。
- 徒歩帰宅時には、地図がいたただけるとありがたい。
- 地震直後にテープで震度4レベルの地震と放送があったが、実際には5強であり、なぜ震度4と判定されたのか分からなかった。
- オフィス内では、ムービングキャビネが地震の最中は無秩序に動き、机の上のファイル等が落下しました。
- 階段や15階会議室のコーナーにひび割れがあることを、壁の粉が床に落ちていて分かった。放送では、ビルは倒れないと言っていました。震度の誤判断を考慮すると信用できないと思われました。
- 防災体制が機能していない。マネージメントは特に点呼も行わず、自らは勝手に早退してしま
- 電車等の状況が分からず、かなりの社員が各自の判断で徒歩帰宅してしま
- 当日の帰宅難民者には水と非常食が配給。毛布などはなし。
- 18時頃、エレベーターが動かず徒歩帰宅者が階段をおりている中、食堂の従業員が複数のオードブルの皿を持って上がった。いくのを多くの社員が見ている。時間からお客様向けとは思えませんが、
- 避難指示の放送をタイムリーに欲しい。意味のある非常放送がありませんでした。指揮系統が機能していない。
- 事業所長が指示を出さず、現場社員の個人責任

(二面に続く)

「自主的避難」

政府発表の『自主的避難』という言葉のあいまいさが問題となったが、翻って会社の災害対応はどうであったか。1〜2面に各事業所の震災当日の対応についてどうであったか声を拾ったが、災害対策機能、指揮命令系統が機能していないという声が多かつた▼「徒歩で帰れる人は帰って、ください」との指示があつたが、全面的に鉄道がとまつていたため、近い人でも3〜4時間は当たり前、遠い人では20時間を超えたと聞いている。特に女性の帰宅者も真夜中をこえたという話は多かつた。2次災害、3次災害を考えたらぞつとすると▼災害対策も経費削減のおおりに受けて、真つ先に予算が削減されていると思われるが、今回の震災を教訓に社員の安全第一を優先する、災害対策を真剣に考えてもらいたい。

従業員代表選挙(豊洲・幕張・大和・横浜北) 組合推薦候補の主張

立候補者一覧 (今後選挙予定事業所)

選挙ブロック	立候補者名	所 属
豊洲事業所 第一ブロック	武田 昌毅	SSO. 第二MFサーバーMGT Busオペレーションズ
第三ブロック	並木 和男	
幕張事業所 第二ブロック	田中 純	
第三ブロック	橋本 雄二	SWTS. 第一Lotus TS ファイナンス・サポート・Ct
大和事業所 第一ブロック	鈴木 明弘	IGA・SM. 第一IGAサービス システム開発. 生産技術開発 製造SO.フルフィルメント・センター 経
第二ブロック	棚田 昭彦	
横浜北事業所	野上 久紀	

就業規則の一部 和、幕張、横浜北事業所 改定および諸協定 において約一ヶ月延期と 等の締結のための されました。

従業員代表選出選 挙が実施されてい ます。震災の影響 により、3月末日 28日に投票が実施されま した。会社では在宅勤 業に予定されていた 投票は、豊洲、大 務・自宅待機が推奨され、 更にお客様の前線に直接 システムの復 旧に当たって いる社員がい るなかで、ま た、ほとんど のアサインに は既に帰国し ており、会社 としていま非 常事態の認識 があるなかで の実施です。

本社事業所 長、選挙コー ディネータの 感覚は、当社 の震災への対

●時間外および 休日労働に関する 協定について

経済社会を持続可能 なものとしていくた めには、その担い手であ る労働者が心身の健康 を保持できていなくて はなりません。そのた めには、労働時間、年 次有給休暇を与える時 期、その他の労働時間 等に関する事項につい て労働者の健康と生活

●時間外労働 「1ヵ月80時間」「年間750時間」への延長に反対

36協定締結において、「特別な事情が生じた場 合は、使用者から労働者 への通告を経て、労働基 準法第32条または第32条 の3に定める労働時間を 超える時間外労働を年6 回を限度として1ヵ月に ついて80時間に、1年に ついて750時間に延長

●厚生労働省通達 「1ヵ月45時間」「年間360時間」を守ります

労働者が心身の疲労を 回復させ健康で充実した 生活を送るためには、時 間外労働を減らし、年次 有給休暇を取得すること

が必要不可欠です。特に 労働者が仕事に偏重した 生活設計によって恒常的 に労働が長時間に及ぶ場 合においては、年次有給 休暇の取得が健康の保持 のためには非常に重要と なります。しかしながら、 年次有給休暇については、 周囲に迷惑がかかる、後 で多忙になる、休暇を取 得しづらい職場の雰囲気 である、等を理由に、多 くの労働者が有給休暇取 得に強い抵抗を感じてい ます。

人員削減の一方で労働基準法を大幅に超える時間外労働延長に反対

今回の本社での選挙 実施は、日本社会と日 本IBMの感覚がずれ ていることを象徴する 問題です。延期された 事業所での選挙はこれ からです。是非組合推 薦候補の主張をお読み いただき、投票くださ

●時間外労働 「1ヵ月80時間」「年間750時間」への延長に反対

に配慮すること が重要です。そ れは、労働者に とって好ましい ことであるだけ でなく、企業活動の担い 手である労働者が心身共 に充実した状態で意欲と 能力を十分に発揮できる ことで、企業経営の効率 化・活性化と健全な発展 にも資するものです。こ れは、企業にとつての無 駄な「コスト」としては なく、非常に有効な 「明日への投資」として 積極的にとらえるべきで

●厚生労働省通達 「1ヵ月45時間」「年間360時間」を守ります

労働者が心身の疲労を 回復させ健康で充実した 生活を送るためには、時 間外労働を減らし、年次 有給休暇を取得すること

従業員代表選挙結果

既に従業員代表選挙が実施された事業所の組合推薦 候補者の選挙結果は下記の表のとおりです。本社第4 選挙区ではブロック当選しました。

ご支援ありがとうございました。

事業所	ブロック	氏 名	得票数	得票率(%)	
本 社	第1	笠原龍宗	295	23.4	ブロック当選
	第2	石原隆行	345	25.3	
	第3	黒田佳宏	237	15.1	
	第4	橋本康助	342	27.7	
	第5	杉野憲作	265	18.5	
大 阪		山本茂秋	131	21.7	
大阪南港		高岡雅之	10	19.6	
京 都		古川 肇	31	29.5	

2011年春闘・夏 季一時金について、会 社回答(二次回答) については誠意ある 回答でなかったため、 要求を絞って2次要 求について回答を求 めるものです。

下記点について特 に強く回答を求めま した。

・震災と春闘要求は別 問題、全社員の昇給 こと。

・臨時昇給はどのような ことを。

3・25 中央団交報告

●会社ホームページに ジヤツイッターに出 社するようという 情報だったので出 社したが、24時間の 「自主停電」のため 施設内には入館で きないと正門で説 明がありました。そ して、13時から17時 まで電車が止まっ ており、帰宅難民と なりました。

●雑居ビルであるので、 IBMとしてどこに避難 するのか事前に確認して おく必要があります。

●入居者が全員避難した と思うが、入居者の多さ に驚くとともに、避難経 路の階段が渋滞してい て速やかな避難ができず不 安を覚えました。

●当日の帰宅難民者には、 水と非常食が配給されま したが、毛布などはあり ませんでした。

●大和事業所

●会社ホームページに ジヤツイッターに出 社するようという 情報だったので出 社したが、24時間の 「自主停電」のため 施設内には入館で きないと正門で説 明がありました。そ して、13時から17時 まで電車が止まっ ており、帰宅難民と なりました。

事業所名	職 場 名	氏 名	電話番号
豊 洲	ネットワーク・サービス	古 石 隆 巨	1801-6802
本 社	IGAS. センターサービス	古 石 憲 作	1712-3435
本 社	SO事業推進・SOオペレーションズ	杉野 隆行	1812-2938
本 社	価格計画. 価格管理	石原 初枝	1712-9867
本 社	本社総務	山本 隆枝	1712-3097
本 社	ビジネス トランスフォーメーション コンサルタント	山本 永基	080-1393-1325
本 社	ファイナンス・サポートセンター計画	橋本 正寿	1819-3039
本 社	SWLAB. 第一Lotus・T・Supp	田中 純	1243-2439
本 社	PMC. 第二PMコンピュータ	板倉 浩	1416-3264
古 横 北	製造SO.フルフィルメント・センター 経	野上 久紀	1892-2057
大 阪	東日本総務. 大和総務	塚本 辰博	1808-4320
大 阪	IMS第2SS関西サービス部	吉田 讓二	1505-3200
大 阪	GFS. 西日本LCM&SPデリバリー	山本 茂秋	1505-5420
京 都	システム開発. 生産技術開発	古川 肇	1616-8523
京 都	組合事務所電話		03-3583-9037 火、水、金 10時~16時
京 都	FAX		03-5562-0853
京 都	e-mail		jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp、HP http://www.jmiu-ibm.org/

注)上記窓口は、事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ

組合HB

弁護士 水口 洋介 03-3355-0611代
http://analyticalsocialboy.txt-nifty.com/yoakemaeka/
東京都新宿区四谷一丁目2番地 伊藤ビル6F
労働問題以外の民事一般についても相談受け付けます (お手数ですが電話により予約をお願いします)

【豊洲事業所】

●地震直後に外へ階段で 避難。外は液状化で水が 噴出中でした。

●避難放送で「火災発生」 の誤報があり、多少混 乱しました。1時間位、外 で待機させられました。

●当日は、エレベーター とエアコンなどが稼動し ませんでした。

●11階東側では、ベンデ インゲマシと取り囲ん でいたパーティションが 倒れ、現在も撤去された

●当初の避難場所がビル 近くであり、地震の際の 避難場所としては不適切 でした。(途中で移動) した状態です。

●オフィス内では、パー ティション・机の揺れで カーペットのめくれ、P Cの落下、FAX機やP RT機などが向きを変え たり60cm位移動。

●防災体制が機能してい ませんでした。

●訓練とは違う形の避難 場所であり、また点呼な どが行われたようには見 えませんでした。

●大和事業所

●会社ホームページに ジヤツイッターに出 社するようという 情報だったので出 社したが、24時間の 「自主停電」のため 施設内には入館で きないと正門で説 明がありました。そ して、13時から17時 まで電車が止まっ ており、帰宅難民と なりました。

●大和事業所

●会社ホームページに ジヤツイッターに出 社するようという 情報だったので出 社したが、24時間の 「自主停電」のため 施設内には入館で きないと正門で説 明がありました。そ して、13時から17時 まで電車が止まっ ており、帰宅難民と なりました。

170人のフレッシュな 新入社員を歓迎

4月1日、本社事業所において IBM入社式が行われました。組合 は例年どおり組合のパンフレット一 式を本社事業所前で新入社員に配布 しました。(会社発表によれば、IBMグループ全体で178人が入社 し、166人が本社での入社式に参加、12人は各社の事業所で参加とのことです)